

2年3組 道徳科学習指導案

授業者 余川 紀子

授業② 2年3組教室

1 主題名 よいと思うことをすすんで 内容項目 A 善悪の判断、自律、自由

2 教材名と出典 「水の広場」(新・みんなの道徳2)

3 ねらいとする道徳的価値について

本主題は、小学校指導要領の内容項目A「主として自分自身に関すること」の〔善悪の判断、自律、自由と責任〕、第1学年及び第2学年「よいことと悪いこととの区別をし、よいと思うことを進んで行うこと」をねらいとしている。

本指導内容は、物事の善悪についての確に判断し、自ら正しいと信じる場所に従って主体的に行動すること、自由を大切にすると共に、それに伴う自律性や責任を自覚することに関するものである。人として行ってよいこと、社会通念として行ってはならないことをしっかりと区別したり、判断したりする力は、児童が幼い時期から徹底して身に付けていくべきものである。そのために、よいと思ったことを進んで行い、できたときのすがすがしい気持ちを思い起こさせ、自ら積極的に行うべきよいことと、人間としてしてはならないことを正しく区別できる判断力を養いたい。

4 道徳科で重点的に育成を図る資質・能力とその手立て

向上心	学んだことを、生活に生かし、これからの生き方をよりよくしようとする。 ①自分事として振り返る時間を設定する。 ②終末場面で、導入に使用した写真やアンケートに立ち返らせる。
聞く力	道徳的価値について再構築するために、友達の多様な考えを共感的に聞くことができる。 ①ペアやグループでの話し合いを取り入れ、物事を多面的・多角的に考えられるようにする。 ②心情円盤などを使って、考えを視覚化させ、自分の考えと比べながら聞けるようにする。
課題を発見する力	資料を読み、どんな問題があるか見つけたり、何について考えたいかを感じ取ったりすることができる。 ①感想やどんなことを考えたいかを問う。 ②子どもの実態が分かるような写真や事前アンケートを示すような導入にする。

5 指導にあたって

(1) 教材観

本教材は、登場人物の迷う気持ちやその理由を考えることを通して、ねらいに迫るものである。「悪いこと、してはいけないこと」と判断する場面に出合ったとき、注意することをためらう「みらいくん」と進んで注意しようとする「あすかさん」が対比して描かれた内容である。子どもが善悪の判断で迷うことは日常生活の中にもいくらかでもある。そして、いつも正しい判断や行動ができるわけでもない。そう

いう弱さが誰にでもあることに注目させ、「してはいけないこと」と分かっているにもかかわらず行動に移せない「みらいくん」の迷いに共感しながら、こうしたときはどうすればよいか考え、正しい判断をしようとする意欲を高めることができる教材である。

(2) 児童観

子どもはこれまでに、「雨上がり」という教材において、〔善悪の判断、自律、自由と責任〕についての学習をしてきた。授業の中で、「どうしよう」と迷っても、よいことができたときには、すっきりとしたすがすがしい気持ちになることに気付くことができた。教室内でも、ゴミや落とし物を拾ったり、友達のために働いたりする姿が見られるようになった。しかし、相手の反応や周囲の様子をうかがって、「まあいいや」と思ったり、「叱られたくないから」「ほめられたいから」といったことだけを基準に行動したりする傾向も強まっている。

向上心について、多数の子どもが授業で学んだことを振り返ることはできている。しかし、これまでの経験を思い起こしたり、実際の生活に生かそうと具体的に考えたりするところまでは至っていない。

聞く力について、お互いの考えを伝え合うことはできているが、友達の考えを自分と比べながら聞いたり、自分の考えを見直したりできているとは言えない。話合いの中で、友達の考えを取り入れたり、自分の考えを見直したりして、道徳的価値の再構築する経験はまだ不十分である。

課題を発見する力について、道徳科の授業では、毎回教材文を読んだ感想を問い、この時間で考えたいことを確認している。導入で、道徳的価値の方向付けを行っておくことで、本時のねらいに迫る課題を、子ども自身でつくることができている。

(3) 指導観

質問事項	回答
①よいことをして、すがすがしい気持ちになったことはありますか。	ある…28人　　ない…2人
②相手が誰でも、正しくない行動をしている人に、注意できますか。	できる…14人　　できない…9人　　分からない…5人
③相手がどんな人だと注意できませんか。	仲のよい友達…7人　　クラスの友達…2人 あまりしゃべったことがない友達…12人 年上の人…2人　　年下の人…5人　　その他の人…11人

上記のような事前アンケートを行った。アンケートの結果から、子どもは相手や状況に応じて、いつでも正しいと思う行動ができているとは言いがたい。導入では、本時のねらいとする価値「よいことをするよさ」への方向付けを行う。「迷ってしまったら、正しい行動が出来なかったら、どうする？」と子どもに問いかけ、誰にでも起こり得る心の葛藤について考えていこうという意欲につなげたい。

展開前段では、教材文を読む前に、あらかじめ感想を求めることを伝えておき、自分が思ったことや考えたいことを発表させる。子どもの発言をもとに、「みらいくん」の気持ちを考えていくことを確認する(課①)。「みらいくん」の、自分より大きい子に注意するのが簡単でないと考えたり、それでもよいと思うことをしたいと考えたりする2つの葛藤する気持ちについて、心情円盤を用いて十分に話し合わせる。自分の考えを伝えたり、友達の考えを聞いたりすることで、理解を深めながら、自分の考えを見直させる(聞②)。悩みながらも、よい行動へ向かう心の動きについて価値づけていきたい。

終末では、自分が判断に迷ったり、すがすがしい気持ちになったりした体験を伝え合う際に、「自分も

同じように迷ったんだけど…」と、たとえできなかったことでも、自信をもって伝えられるようにする。そして、この時間に感じ取った「よいことをするよさ」をもとに、一人一人が自分ならどんなことをしようと思うか具体的に考えさせ、生活に生かそうという意欲をもたせたい（向①）。

6 本時の学習

(1) 本時のねらい

よいと思うことを進んで行うことのすがすがしさに気づき、小さなことでもよいことを進んでしようとする意欲を高めようとしている。

(2) 学習の展開

時	主な学習活動と子どもの思考の流れ ○教師の発問 ・予想される子どもの思考	・指導 ◎評価 ★9つの資質能力の育成に関する手立て
5	<p>1. 価値項目について課題意識をもつ</p> <p>○よいことと分かっているけど、どうしようかと迷ってしまったり、正しい行動が出来なかったりしたら、どうするかな。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分には、そんなことはないな。 ・迷うことがよくあるな。 	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケートをもとに状況を説明し、迷ってしまう理由を考えさせ、そうなってしまうことは誰にでもあることを押さえる。
25	<p>2. 教材文を読んで、考える</p> <p>○自分が思ったことをみんなに伝えてみよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・注意しようとする「あすかさん」は正しい。 ・自分も、大きい子に注意できないかも。 ・どうして、「みらいくん」は考えたのかな。「みらいくん」の気持ちを考えてみたい。 <p><よいことをするとき、大切なことは？></p> <p>○水の広場で遊んでいる大きな子を見たとき、「みらいくん」はどんな気持ちかな。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・危ないな。 ・看板があるのに、いけないな。 ・誰か注意しないのかな。 <p>◎「みらいくん」は、なぜ考えてしまったのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あすかさんと一緒に注意しようかな。 ・注意するのは怖い。怒られるかもしれない。 ・もし、けがをしたら大変だ。注意しなかったら、もやもやしそうだな。 	<ul style="list-style-type: none"> ★あらかじめ感想を求めることを伝えておき、課題として話し合いたいことを考えさせる。 (課①) ★心情円盤を使い、友達との相違点に注目しながら友達の考えを聞き、自分の考えを変えてもよいこととし、その理由を問う。 (聞②) ・「よい」＝「注意する」でまとめるのではなく、他の価値観も認める。 ・「自分も同じように迷ったんだけど…」と話し始めるようにすることで、たとえできなかったことでも、自信をもって伝えられるようにする。
15	<p>3. 自分の生活をふり返る</p> <p>○迷ってしまっても、よいことをするには、どうしたらいいのかな。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・悪いことをしないでおこうとする強い心。 ・誰にでも注意できる勇氣。 ・相手のことを考えること。 ・「よいことをするよさ」をこれからも感じたいな。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>よいことをするときには、強い心と勇氣、相手のことを考えることが大切。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・「自分も同じように迷ったんだけど…」と話し始めるようにすることで、たとえできなかったことでも、自信をもって伝えられるようにする。 ◎よいと思うことができたときのすがすがしさに気づき、進んでよいことをしようとしている。 <p style="text-align: right;">(ワークシート・発言)</p>

